令和5年2月11日

令和4年度　行事実施報告

開催日	確定	行事名	開催場所
1/30(日)	中止	『新年射会』兼『大島楯争奪支部対抗戦』	明治神宮至誠館弓道場
2/20(日)	中止	第31回大学ＯＢ・ＯＧ親善射会	東京武道館
3/26(土)午前	○	追悼射会	東京武道館
3/26(土)午後	○	臨時特別研修会 臨時連合審査	東京武道館
3/27(日)	○		
5/3(祝)	○	京都研修会 定期中央・連合審査 懇親会	京都外大西高校弓道場
6/25(土),26(日)	○	合宿研修会 臨時中央・連合審査	野辺山：帝産ロッヂ
6～8月	○	第43回通信射会	各支部にて実施
7/23(土)	○	第11回遠的大会	東京武道館遠的場
10/1(土),2(日)	○	中央研修会	明治神宮至誠館
11/下	中止	第51回大学対抗懇親射会	東京大学育徳堂
12/4(日)	○	納射会	東京武道館

【評議員会・理事会・運営員会】
1. 定時評議員会　2/12
2. 定時理事会　2/12、12/10
3. 臨時理事会　6/11
4. 運営委員会　2/12、4/9、6/11、8/6、10/8、12/10

令和４年度　事業報告の附属明細書

■新年射会・大島盾争奪支部対抗戦

新型コロナウイルス感染拡大のため中止

■第三十一回大学ＯＢ・ＯＧ親善射会

新型コロナウイルス感染拡大のため中止

代替行事として、関東地区自由稽古会を開催

場所　東京武道館

参加者：約二〇名

■追悼射会

今回の対象者：後閑縫之介氏、山本実氏、嶋久雄氏

日時　令和四年三月二六日（土）

一〇時～十二時三〇分

場所　東京武道館

参加者：二五名

今年度の追悼射会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により延期となっていた令和二年度・令和三年度の追悼射会の対象者を含め、永年にわたり本会の発展に尽力された三名の方々を追善するため、二十六日午前中に会員二十五名が参加し執り行われました。

■臨時研修会　臨時連合審査

日時　令和四年三月二六日（土）

一三時～十六時三〇分

令和四年三月二十七日（日）

九時三〇分～一六時

場所　東京武道館

参加者：四五名（二日間延べ）

臨時研修会は、同じく新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりこの二年間公式行事がほとんど開催出来ていなかったことから、政府対策の終了にあわせて特別に企画・開催したもので、二十六日午後・二十七日あわせて会員延四十五名が参加しました。研修は師範会による講義・模範演武に始まり、射技研修を中心に熱心な的前稽古が行われ、研修時間中、十二個の的がほとんど空かないほどの熱気でした。

連合審査では二名が受審し、師範会の審査により、それぞれの進境に応じた印可が本多流宗家から許されました。

■京都研修会　定期連合・中央審査

日時　令和四年五月三日（祝）

一〇時～十七時

場所　京都外大西高等学校　三条グラウンド弓道場

参加者：二三名

京都研修会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ここ二年中止となっていたことから三年ぶりの開催で、宗家はじめ二三名が参加しました。冒頭、印可授与式が行われ、過日の審査に合格した会員に対し宗家直筆の印可状が宗家から直接手渡されました。研修は宗家による講義に始まり、師範会による講義・模範演武、射技研修、体配研修と盛りだくさんの内容で、特に射技研修では本多流伝統の指導法である「弦取り」により、宗家自ら参加者の弦を取って指導されました。

中央・連合審査では五名が受審し、師範会の審査により、それぞれの進境に応じた印可が宗家から許されました。

■合宿研修会　臨時連合・中央審査

日時　令和四年六月二十五日（土）
　　十二時三〇分から
　　令和四年六月二十六日（日）
　　十四時まで
場所　帝産ロッヂ「洗心弓道場」
参加者：三二名（二日間延べ）

合宿研修会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ここ二年中止となっていたことから三年ぶりの開催で、宗家は欠席でしたが三十二名が参加しました。両日とも晴天に恵まれ、さすが日本一標高の高い駅がある野辺山、吹く風も爽やかで、高原での稽古を満喫しました。

初日は帝産ロッジ・亀岡寛治会長のご挨拶、宗家挨拶（代読）、師範代就任委嘱（代読）に始まり、三月および五月の研修資料の紹介、師範会による矢渡し、軽装・素足での稽古、班別射技研修（スマホやタブレットを活用した動画撮影、会員同士による相互案内）、師範会による案内、印可審査、洗心弓道場の歴史と伝統に触れる見学会、二日目は師範会講話、師範会・東海支部・関西支部による繰大前披露、洗心洞稽古会支部による普段の稽古の再現披露など、充実の研修会となりました。

特に、洗心弓道場は本会および本多流にゆかりの深い道場であることから、軽装・素足での稽古の了解をいただき、当流ならではのしっかりとした足踏・胴造を修業することができました。

印可審査では一名が受審し、進境に応じた印可が許されました。

■第十一回遠的大会

日時　令和四年七月二十三日（土）
　　十時～十六時
場所　東京武道館
射数　二〇射
参加者：十二名

遠的大会は夏の恒例行事として、今年で十一回目の開催となりました。参加者十二名と小規模な射会でしたが、夏の一日、遠的でさわやかな汗を流しました。また会員二名から景品の差し入れがありました。

成績　優　勝　吉田　隆一　十四中（東京）
　　準優勝　杉原　庸介　十三中（東京）
　　第三位　坂本　武彦　　十中（洗心洞稽古会）
　　第四位　飯野雄一郎　　八中（赤門）
　　第五位　吉村　圭史　　七中（洗心洞稽古会）

■第四十三回通信射会

日時　令和四年六月～八月
場所　各支部で実施
射数　二〇射
成績　優　勝　John Bush　十五中（欧州）
　　準優勝　杉原　庸介　十五中（東京）
　　第三位　村上　英俊　十五中（東京外語大）
　　第四位　中村日出男　十四中（東京外語大）
　　第五位　道家　義将　十四中（東海）
　　十支部・一七九名参加　詳細別紙

令和４年　第43回通信射会

	支部名	優勝	的中	準優勝	的中	第３位	的中	第４位	的中	第５位	的中	参加人数
1	洗心洞稽古会	坂本　武彦	11	佐々木晴子	11	松永　芳栄	10	星野　保	9	綾戸　岩雄	8	10
2	東京	杉原　庸介	15	中橋　信子	13	土谷　芽衣	13	鈴木　丈雄	12	今泉　文雄	12	16
3	東京外語大学	村上　英俊	15	中村日出男	14	藤野　俊幸	11	伊藤　ゆり	11	仮屋　尊春	9	18
4	横浜	佐藤美左子(非)	12	金松　貴子	11	守屋　景子	10	山下(非)	9	門奈(非)	9	14
5	埼玉東部	村上　節子	13	杉山　浩子	12	勝俣　俊一	11	堀井　剛	11	栂野　登	10	10
6	埼玉西部	関口　二郎	13	野瀬　武博	8	ｼﾞｪｼｶ･ｸﾞﾘﾃｨ(非)	7	西髙　紘一	6	秋山貴美雄	6	11
7	東海（岐阜）	道家　義将	14	北原　修	13	森　祐太	12	小栗　一浩	11	奥村　秀喜	9	12
8･9	関西・指月庵	坂口　洋一	13	阿部ゆかり	13	山岸　稔明	10	山下　博美	8	新本　恭子	8	9
10	欧州	John Carder Bush	15	Lilia Tishina	13	Jan Urbanowski	13	Manfred Riemer	12	Stefan Brendel	12	79
												179

入賞者

総合順位	氏名	(年齢)	的中
優勝	John Carder Bush	78	15
準優勝	杉原　庸介	58	15
第３位	村上　英俊	44	15
第４位	中村日出男	70	14
第５位	道家　義将	35	14

※同中の場合は年齢順で決定

【参考】参加支部と参加人数の推移

開催年	参加支部	参加人数
平成29年	１０支部	２２６人
平成30年	１１支部	２２３人
令和元年	１１支部	２４９人
令和2年	中止	
令和3年	６支部	１２４人

■第四十四回中央研修会　講演・射技射礼研修

日時　令和四年十月一日（土）
　　十三時三〇分～十六時
　　令和四年十月二日（日）
　　十時～十六時
場所　明治神宮至誠館
参加者：八二名（二日間延べ）

中央研修会は昭和五十三年に本部研究会として第一回が開かれて以降、本会の最も重要な研修会として全国から会員が集い、毎年秋の恒例行事として開催されてきました。

第四十二回・第四十三回はコロナ禍のため中止となったため、今回は三年ぶりの開催となりました。初日は「講演」と題して宗家講話に始まり、師範講話、会員発表二件および支部発表一件が行われ、会員の日頃の研究の成果や支部の活動内容が報告されました。あわせて、印可認許者に対し宗家から印可状が授与されました。初日の参加者は三十九名でした。二日目は参加者四十三名、「射技射礼研修」として、師範会による矢渡ののち、模範演武、会員射礼、師範による射技講話、射技研修および射礼研修が行われました。二日間にわたり本多流弓道について射学・射技・射礼の各分野で研鑽を積むとともに、さわやかな秋晴れのなか、大いに弓を楽しみました。

講演の内容

講　　話　本多利永宗家
　　「本多流弓術の目的」
講　　話　坂本武彦師範
　　「日本の弓術」
会員発表　渡辺純平氏（洗心洞稽古会）
　　「竹弓の扱い方」
会員発表　飯野雄一郎氏（赤門）
　　「本多流を支える基本文献」
支部発表　小林圭支部長（東海）
　　「射法本紀と太子流の由来」

■第五十一回大学対抗懇親射会

新型コロナウイルス感染拡大のため中止

■納射会

日時　令和四年十二月四日（日）

十三時～十六時

場所　東京武道館

参加者：一八名（稽古会もあわせ延べ三四名）

納射会には十八名が参加し、今年一年を締め括りました。また午前および夜間も自由稽古として会場を確保し、納射会参加者とあわせて延べ三十四名が今年最後の稽古に励みました。一方で奨励賞として景品の差し入れや、余興的も催され、楽しい射会でもありました。

貸　借　対　照　表

令和4年12月31日現在　　（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
現金	166,873	146,559	20,314
預金	5,012,481	5,003,484	8,997
棚卸資産	245,453	264,966	△ 19,513
前払費用			
預け金			
流動資産合計	5,424,807	5,415,009	9,798
2　固定資産			
(1)基本財産			
文庫書籍	1,000,000	1,000,000	0
預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	4,000,000	4,000,000	0
(2)特定資産	0		0
特定資産合計			0
固定資産合計	4,000,000	4,000,000	
資産合計	9,424,807	9,415,009	9,798
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
前受金	0	25,000	△ 25,000
預り金			0
流動負債合計		25,000	△ 25,000
負債合計		25,000	△ 25,000
Ⅲ　正味財産の部			
1　指定正味財産			
民間寄付金	1,000,000	1,000,000	0
2　一般正味財産	8,424,807	8,390,009	34,798
前期繰越正味財産	8,390,009	8,611,649	△ 221,640
当期正味財産増減額	34,798	△ 221,640	256,438
正味財産合計	9,424,807	9,390,009	34,798
負債及び正味財産合計	9,424,807	9,415,009	9,798

監　査　報　告　書

一般財団法人**本多流生弓会**

理事長　　本多　利永　殿

一般財団法人**本多流生弓会** 定款第12条の規定により、令和５年２月５日に経理担当理事から提出された、令和４年の収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録について、関係書類を監査した結果、その内容は適正なものと認めます。

以上を証明し、記名捺印して監査報告とします。

令和５年２月５日

一般財団法人**本多流生弓会**

監事　　飯塚　誠一

監事　　青江　純平